

保 健 福 祉

保健福祉(テーマ 新しい市が誕生したときに、「自慢したい」、「伸ばしたい」、「くふうしたい」ものは？(政策、住民の取り組み、場所、祭り等々))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-50	川内市	53	男	ぴんぴん・しゃんしゃん運動 合併すると高齢化率が23.52%となる。それに伴う医療費の増が見込まれる。今後は健康で自立して生活出来る健康長寿の延長を図る必要がある。関係団体と連携と取りながら、健康長寿のまちづくりを目指す。
1-52	川内市	26	女	これからの高齢化社会を考えると、生涯学習は「生きがいづくり」という観点で、とても重要になっていくと思う。様々な生涯学習の紹介やボランティアの紹介など、総合的な学習情報提供及び相談を行える生涯学習センターを作り、活気のあるまちにしたい。
2-71	串木野市	50	男	高齢化対策の健康管理体制 高齢化による医療費対策 健康増進センター(メディカルチェックを含む)
3-2	樋脇町	35	女	高齢化に伴い実施している痴呆予防のための脳活性化刺激訓練教室と脳の働きを調べるテスト CTやMRIに写らない働きを調べるテストは痴呆予防のための一次予防として重要である。
3-3	樋脇町	49	女	健康な町づくりに取り組む保健推進協議会。地域に根ざした保健活動の担い手となる。行政と住民と彼女らが一体となって明るい町を推進する。
4-10	入来町	36	女	デイサービス、社会福祉協議会の配達お弁当などの福祉の面は残したいし、合併後も充実させて欲しい。
6-12	祁答院町	46	男	各郷土の伝統的な祭り 年1～2回の河川道路の愛護作業(ボランティア)
8-4	上甕村	60	男	美しい自然 各種イベント(地区の祭事・スポーツ等) 水産・観光・福祉の村づくり 環境づくり
10-1	鹿島村	51	男	「残したいもの:政策」・家庭介護支援(在宅リハビリサービス)・地域ネットワーク活動(ボランティアによる声かけ運動等)
11-62	川内地区消防組合	55	男	川内川河川敷に桜の木があり、遊歩道の脇にベンチを、又夜は、水銀灯がともり、市民の憩いの場になってもらいたい。
11-94	川内地区消防組合	38	男	川内市は医療に対しての協力体制は、他に自慢できる体制です。当番医・小児科当番など

保健福祉(テーマ 「魅力あるまち」「活気のあるまち」「幸せを実感できるまち」にしていくためには、何が大切で、何をしたらよいと思いますか？)

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-2	川内市	41	男	商工政策の推進、高齢者や乳幼児を大切にする福祉の充実
1-39	川内市	29	男	少子高齢の情勢であるので、福祉都市を目指すために、3歳以下の幼児に掛る医療費の全額免除とか、他の都市からの転居した方の住民税を1ヶ月免除を行う。
1-40	川内市	44	男	市民のボランティア等への参加意識の向上
1-49	川内市	47	男	生涯を通して健康で安心して暮らせるよう福祉・都市環境等の整備と交通路の確保と拡充。地元で一生暮らせるよう市民所得の向上や各種産業の振興、就業環境をはじめとする勤労者福祉の向上
1-67	川内市	36	女	高齢者の集える場を多くする。(グランドゴルフ、温泉めぐり)ホームページなど様々な意見を交わしあう場をもちいろいろ意見を交換しあって反映していく。
1-103	川内市	35	男	子育てにやさしい環境(第3子以降の義務教育期間中の経費免除(減免))・給食費・医療費・公共機関施設使用料等 上記施策及び交通網の整備で、住むなら「せんだい(仮称)」というイメージを作り、緑のベッタウン化を行う。

2-1	串木野市	41	男	若者に魅力的なまち、医療・福祉の充実したまちにしたい。定住人口を確保し、人口減少を低減するため、若者に魅力ある企業の誘致
2-31	串木野市	21	男	高齢者や子供を持つ世代が暮らしやすい町に、例えば高齢者パス(市内の公共機関利用料免除)、子供がいる世帯の居住費の半額助成、住民税の半額の半額免除など他にない特色を出すべき。
2-46	串木野市	44	女	今から元気なお年寄りが多くなると思いますので、健康について色々な勉強ができる機会が身近にあればいいと思います。若い人達が安心して働ける場所があればいいと思います。
2-51	串木野市	39	男	次代を担う子供達の育成や高齢者が安心して住める町をめざし「教育・福祉」に重点をおいた施策に取り組む。例として、共働き世帯におけるカギっ子対策としての放課後児童保育の充実、不登校生徒の相談等の充実を図る。福祉対策としてサービスの充実はもちろんのこと、高齢者の憩える場の提供を図る。
2-69	串木野市	57	男	総合運動公園を整備し、市民の健康増進と憩いの場所づくり 若人が定着出来る働く場所確保のため企業誘致
2-90	串木野市	53	男	1. 便利で生活しやすい住宅団地の整備 2. 定年後に出郷者が帰ってきたくするような施策の充実(住宅・農地の活用、交通の整備、職場の確保) 3. 世代を越えて集えるような複合施設の整備(図書館、視聴覚センター、軽スポーツの施設等)
2-91	串木野市	39	女	生活環境の充実、特に安心して子供を育てられる環境(保育、学校教育等)又、老後を安心して過ごせる環境
2-101	串木野市	32	男	休日に市外に出なくてもすむように、ゆっくり1日過ごせる公園や体育館などの運動施設等の充実や、大型店の誘致をする。
2-103	串木野市	32	男	福祉、医療等の拡充
2-123	串木野市	30	男	老人のキャリアを生かし、老人が活力を持つことができる政策が必要かと思う。4人に1人が老人が占める街なのに、老人を金がかかるだけの厄介物扱いするのでは街に活気が出てこないし、自分たちも将来に希望がもてない。老人の福利厚生を厚くするのもいいが、老人のキャリアを活かす政策が求められるのではないかと思う。元気な老人は、生き甲斐を持って生きているように感じる。趣味や、仕事、社会奉仕活動など、それは今いる市の各協会などのお偉いさん方を見てみるとよく分かる。主体的に何かに取り組んでいるから元気なのだと思う。そこで、農業、漁業、土木、教育など第一線を退いているものの公共事業にも通用するキャリアを持つ老人は多いはずで、公共事業の一つ、例えば千年の森事業など急々に結果を求められることのない事業、あるいは地域の簡単な道路の補修工事などは彼等に任せてみてはどうか。老人に、主体的に何かに取り組んでいるという感覚を持たせることが彼等の活力につながるのではないかと思う。行政は老人事業団と対等、もしくはサポートでいいかと思う。実施に実施している自治体もある。もう一つは老人のネットワークを作ること。ただのお遊びサークルも必要だが、このような事業を通して彼等のネットワークを構築するのも必要かと思う。自治体にとっては彼等が持つ人的ネットワークを利用しないのはもったいない。
2-137	串木野市	37	女	福祉、子供を健全に育てられる環境作り
3-1	樋脇町	27	女	母子保健事業に力を入れる。将来、市を支え、動かしていく子供達が健やかで心豊かな“人”となるように育てていくことが大切だと思う。
3-6	樋脇町	24	男	これから超高齢化社会の中で生きがいをもてる場が必要になる。各地域で成功しているイベント、行事を積極的に取り入れてみるのもいいと思われる。また、どの地域にも住民の満足できる福祉サービスを行えるように努力することも大事であろう。
3-51	樋脇町	43	男	生活環境の充実 交通アクセス 医療体制、ゆとり施設等々
3-79	樋脇町	34	男	各人の町を思う気持ちが大切。地域の自然を利用し、子供達を育てやすい環境づくりが必要である。
6-2	祁答院町	55	男	高齢者が地域でレクリエーション活動や世代間交流の行える「老人憩いの家」を新設し、ボランティア活動との連携を深めていく。(リーダー育成も含める)自然環境の美しさにより海山川を生かした健康的な活気あるまちづくり

6-14	祁答院町	53	男	市街地の整備(特に商店街)については、新市の顔ともなり活性化のため大切なことですが、周辺の町の住民は、今までと違い社会資本の整備に遅れがでるのではないかと懸念されるため、市街地へのアクセス道路、地域を循環する道路等の整備を、市街地の整備と平行し取り組み。地域で、誰もが身近に、いつでもスポーツ等親しめるグラウンド等の整備。福祉施設についても、今後、介護保険の利用者の増加が見込まれるため地域の自然(温泉・川・海・湖)を生かした整備も急務と考える。また、高齢化の進行に伴い交通弱者も増えてくるため、その対策を。
6-20	祁答院町	48	男	子どもを預けて母親が勤務できるような施設整備をし、また母親と幼児が図書館等で育児・子育て等の話ができるように、スペースをとり母親が安心して住める町を希望したい。
7-2	里村	55	男	幸せを共有できること。 若者を中心としたまちづくり政策 高齢者に優しい思いやりのあるまちづくり、政策、社会教育、医療保険福祉の充実 若者と高齢者を昔の薩摩風の教育方針で結ぶ。
7-5	里村	25	男	「合併後住民への福祉サービスが悪くなった。」との意見がでないよう留意すべき
7-10	里村	52	男	高齢化が進んできているので、老人向けボランティア - 活動を推進していく(老人の家の庭の手入れ等)
8-6	上甕村	59	男	本村は高齢者が多いので福祉的な(医療を含む)面で安心できる村であって欲しい。 甕島の住民は串木野港から川内市(鹿児島市)への交通のアクセスを今以上に良くして欲しい。
8-7	上甕村	35	男	本村は、全国的にみても屈指の超高齢化の進む村であるが、それをマイナスと考えず、福祉・医療を充実させ、島を出た人が定年後はUターンして、故郷で老後を過ごしたいと思えるような所にしていくことが大切ではないか。
8-10	上甕村	49	男	ろうじんをたいせつに
8-16	上甕村	32	男	福祉施策の充実(高齢化が進む中高齢者に対する各種施策等) 地場産業の育成 若者定着(Uターン、Uターン)等若者が定着するような施策 医療施策の充実(小児科等) 保育所等施設等の充実(女性の社会進出にはかかせない)
8-18	上甕村	43	男	鹿児島市への流出を防ぐため、交通基盤、産業集積、医療福祉体制の充実を図る。
10-1	鹿島村	51	男	独居老人等弱者に対して地域が一体となり、個々が出来ることを出来る時に出来るだけ提供していくシステムの構築が重要である。(ボランティア団体の育成)
10-4	鹿島村	46	女	高齢化が進む中で、自宅介護ができ、介護する側される側が心にゆとりがもてるようヘルパー人材の確保をお願いしたい。
11-1	川内地区 消防組合	39	男	子ども・成人・老人などが楽しめる市を誕生してもらいたい
11-18	川内地区 消防組合	52	男	現合いの町村は年々人口減少の一途をたどり寂しくなっていると同時に高齢化が進み若者が住みにくくなっている。若者を呼び寄せるためには、将来安心して働ける職種の開発(農業・漁業・企業誘致)を行い収入等が安定すると、自然には人口は増えて活気のあるまちになると思います。
11-19	川内地区 消防組合			自然との共存 スポーツ振興 福祉のまちづくり 人口流出の歯止め対策(雇用創出、観光行政促進) 離島振興策の拡大
11-21	川内地区 消防組合	43	男	公園、山、川、海の娯楽設備 少子対策 子育て支援
11-25	川内地区 消防組合	37	男	公共サービスの拡充
11-41	川内地区 消防組合	48	男	鹿児島県の中核都市として、年寄りから子どもまで一日を楽しく過ごすことができるような公園等の目玉になるような地域環境整備が必要だと思います。

	消防組合			
11-71	川内地区 消防組合	44	男	今後急速に進む少子高齢化に向けて、福祉施設や福祉関係事業の充実を行い暮らしやすい街づくりや子供を育てるのに現在はたくさんのお金が必要です。もう1人は欲しいが教育資金や共稼ぎのためにあきらめている家庭もあるのではないかと考えます。そのような家庭に、学費や給食費の補助や保育園や幼稚園の経費の補助などを行い、1人でも多くの子供が増えたら良いと考えます。そして、周辺の住民の方が住んでみたい。この市で子供を育てたいと思える環境整備を行い、他の市ではない特徴のある市をつくってもらえる様望みます。
11-91	川内地区 消防組合	25	男	市の施設などを作り、住民の集うところを作ればよいと思う
11-92	川内地区 消防組合	21	男	ボランティア精神、高齢化に伴う福祉施設の充実
12-4	西薩衛生 処理組合	52	男	福祉の充実に投資してほしい
13-7	串木野市・ 市来町・東 市来町 衛生処理 組合	40	女	住み易く、福祉を重視した町造りが大切だと思います。高齢化がすすむ中、お年寄りが安心して住める環境づくりに力を入れるべきではないでしょうか。

保健福祉(テーマ 新市のまちづくりの望ましい姿、イメージ、キャッチフレーズはどんなものでしょうか?)

	市町村名	年齢	性別	提 言
2-60	串木野市	47	男	若者に魅力のあるまちづくり、医療や福祉が充実したまちづくり
3-21	樋脇町	28	男	保健福祉行政の充実したまち
3-83	樋脇町	55	女	福祉の充実をさらに伸ばしたい
3-84	樋脇町	20	女	交通の便が良く、福祉の充実したまち。人の集まるまち。鹿児島県の西の玄関口
6-1	祁答院町	44	男	健康づくりと福祉の充実したまちづくり 特色ある観光資源を活用したまちづくり
8-10	上甑村	49	男	老後の充実
11-6	川内地区 消防組合	43	男	均等な福祉の充実
11-14	川内地区 消防組合	50	男	全てを行政(市役所)に依存することなく、地方に残っている道路・河川愛護作業等ボランティア活動は今以上に推進を図るべきである。住民一人ひとりが自治意識を持つことが大切。 *住民自治意識の高揚
11-24	川内地区 消防組合	19	男	建物ばかりでなく、みどりのあるまちにすればいいと思う。

11-55	川内地区 消防組合	43	男	日本は世界で一番の長寿国になりました。このことは、本来喜ばしいことです。しかし一方、年金や医療費といった問題が指摘されるようになりました。川内市でも平成13年度、国保の医療費が100億円を超え大きな問題であると聞きます。また、良く聞くことで高齢者の方々が病院の待合室で病院に来てない人がいると「具合が悪いのかな」と言うとの冗談話があります。このように、高齢者は本当に病院にかかる必要があるのか疑わしい部分も否めません。長寿は長く生きることより、健康で生きられるかという中身が大切ではないかと考えます。今、グランドゴルフがブームで、元気な高齢者がいきいきとスティックを手にグランドを走っていらっしやる光景を目の当たりにします。このように病気より楽しいことを提供することで、充実した老後を送ることができると思います。また、そのことが、医療の削減にもつながると思います。長野県のあるまちでは、「生きいきコロリ」運動を提唱し、行き来と活動し、死ぬときはころりと死のうという運動を実施していると聞きます。新しい市では、今より高齢化が進み、医療費等の問題が深刻化することが予想されます。そこで「生きいきコロリ」(これは刺激的過ぎますか)のようなスローガンを掲げ、生涯スポーツをさらに充実する必要があると考えます。拠点になる場所は、サロンを作り、そこで語らいながら仲間作りをし、また、温泉でもあれば終日過ごすことができ、病院にかかる件数も減少すると考えられます。又、現在・福祉課、保健課、市民スポーツかがそれぞれ進めている、高齢者の健康増進等の行政を一本化し、効率的な行政を進める必要もあると思います。新しい市は高齢者にも優しくありたいものです。
-------	--------------	----	---	--

保健福祉(テーマ その他、期待するまちづくりの政策等自由なご提言(こんなまちになってほしい、こうあってほしい、子どもたちのためにこんなことをしてほしいなど))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-13	川内市	41	男	現在、新規就農者の6割が定年帰農(文字どおり退職後に始める農業)者で占められているとのこと。今回の市町村合併により、手つかずの豊かな自然を共有することになるが、この豊かな自然を背景に「シルバーライフオアシス」を提言したい。高齢化社会と言えども、60歳で定年退職した多くの人は、まだまだ元気で勤労意欲が高いのではと考えられる。しかし、現在の社会情勢では再雇用の機会は限られている。そこで先に述べた豊かな自然を相手とした農業・漁業・林業の滞在型就労(生きがいづくり)を考えてみた。方法としては、都会の定年退職者をターゲットにメディアを通じてPRを行い、(他所に先行されるとインパクトに欠け、二番煎じと揶揄されかねない。)希望者を募集する。 地方で空家となっている家(公営住宅でも可)を安く貸家として斡旋する。 無償もしくは廃価で田・畑・舟・山林などを貸付する 素人でも始められるような支援体制(農機具のレンタル サポートや作物づくりの方法)をつくる。(村の人でOKなのは、地域の活性化。 定住化にこだわらない(1年2年でやめて帰ってもOK)などではどうだろうか。 インターネットなどで見る、東京の定年退職者は高速道路で2時間もかけて福島県茨木県の耕作地に嬉々として通っているみたいである。(本当に生きがいを感じている人が多い)本市が他市に先がけて高齢者のパラダイスをつくることは愉快なことであり、本市の大きなウリになると考えられ、爆発的にないにしろ着実な需要が見込まれると思うのだが…。
1-39	川内市	29	男	子供達のために安全なまちであるために、子供を生むと祝い金がもらえ、医療費は安く、保育園及び幼稚園の教育費の一元化を図り、道路整備でも歩道設置及び交通弱者へのバリアフリーの対策を最優先させる。
1-52	川内市	26	女	ホームページの中に、子育て支援専用Webを開設する。なかみとしては、・利用者がネット上で情報交換ができる掲示板の公開 ・保育園入園申込書や児童手当申請書、乳幼児医療申請書などの掲載 ・生年月日入力で予防接種や検診の日程検索が可能 ・離乳食のレシピ紹介 など、こんな市であったら子供を産んで育てるにはよい環境だなと親が思えるような内容にしたい。そうすることにより、定住者が増えるだろうし、人口増加にも繋がると思う。市役所内の横の連携が必須。
1-65	川内市	46	男	高校教育のレベルアップ、有名塾の誘致、「この町に住めば、進学は安心と思わせる町」お年寄り、障害者、乳幼児を大切にする町...「ここに住めばやさくなる町」第三次救急医療を備える町...「この町は、人の命を大切にする町」
1-66	川内市	58	男	基本的には、若者が定着できるまちづくり。若い人を雇う企業誘致育成 市民が楽しめる街(娯楽施設・公園・スポーツ施設・大型店舗等) 子供のために 過疎校の統合。地域と一体となった子育て、親子学習 最後に治安のよいまち、思いやりのある人間が育つまちになってほしい。
1-67	川内市	36	女	高齢者が元気でいられるように、グランドや公民館など集会室の充実・整備、くるくるバス等の拡張、病院や介護情報を充実させることができたらいいと思います。
1-80	川内市	33	女	おいしい、温かい給食(お弁当)を提供する。敬老者が安心して暮らせるまちづくり。
2-43	串木野市	34	男	子育てのしやすい街をめざしたい。将来につながると思う。

2-79	串木野市	42	女	高齢者が役割と生きがいをもって生き生きと暮らせるまち、乳幼児から高齢者まで世代間の交流があるまち、安心して子供を産む育てることのできるまち、子供が健やかに育つまち
2-81	串木野市	29	女	最近、高齢者対策に重点がおかれているので新しい市になったら子供達の対策を充実させてほしい。今までは串木野市に専門の小児科がない等という意見も多く聞かれたが、これからは、医療機関も整備されたり等、今までの人口規模では実現できなかった部分の充実も期待したいし、学童保育、障害児療育、育児サークルなど子供達が健やかに過ごすための施設や事業、行事などが身近に手軽に安心して利用できるようなと思う。
2-83	串木野市	29	女	地域の人達が協力して、子育てがしやすいように見守ってくれたらいいです。
2-129	串木野市	27	男	若い人達の集まる街がいい 地元で就職できる大企業 24時間体制の総合病院 バリアフリーの街
2-137	串木野市	37	女	住民が活用できる総合的な体育設備(スパランド等)
2-140	串木野市	33	男	少子高齢化に対応する福祉制度等の充実したまちづくりに重点を。
3-10	樋脇町	37	男	高齢者ですが、これからの未来を担う子供達へもっと勉強、スポーツなど支援し、クラブ活動などみんなが出来るような(家庭内予算)環境があればいいと思います。
3-34	樋脇町	23	女	広域合併ともなると各市町村にある施設等を統合させて新しく作るということも出てくると思う。そうなった際、今からの高齢者社会の事も考えて福祉サービスの充実した施設(特に車イスの住民も問題なく利用できるバリアフリーなど)を作してほしい。今でさえ役場から遠い市街地から遠いというお年寄りは不便な思いをしていると思うので、そんな不便さを解消するためにも一人一人思いやりを持った行動がとれるようになってほしい。
3-35	樋脇町	49	男	諸手続、証明書発行、納金など近くで取り扱いが出来ること(高齢者対策の充実)
3-53	樋脇町	40	男	市街地や特殊性のある地域は外に向けて情報発信、入り込みや交流の促進 産業地域は安定向上をめざした施策 住民の居住環境、福祉、教育は充実
3-65	樋脇町	59	男	子供から大人まで楽しく暮らせる魅力ある新都市になってほしい。働き盛りの若者が安心して働くことの出来る企業誘致、乳幼児の保育施設の整備から高齢者が安心出来る交流施設、高齢者向けホーム施設及び公営による医療施設を各地域に整備を期待したい。旧市町村の地域差別解消のために道路網の整備を図り、交流が図られるような政策を期待したい。
5-5	東郷町	46	女	あまりにも大きな市になり、東郷町など特に切り捨てられる面があるのではと心配します。予算等削減されるとこの行事もあの行事もあの活動もと。また、将来呼応零下が進むとお年寄りが元気で生活できる町づくり。(これは医療費、福祉の問題ともつながると思いますが)病気にならないようにする体、そのための教室や講座、定年後の方々が元気であればその方々から子供達に教えてもらう面も多いのでは？
6-3	祁答院町	48	男	都市部と農村漁村部の調和のとれた都市づくり ボランティア活動等が盛んで、こんな活動を通じ若者を社会性のある人づくりをしてほしい。 高齢者の生き甲斐づくり政策 未婚者が多いので結婚対策 農地の荒廃対策 農業後継者対策(20年後を考えると心配である) 高齢化対策として福祉施設・設備の充実
6-16	祁答院町	30	男	自分の子どももまだ小さいので子ども病院等をさらに増院して欲しい。
6-19	祁答院町	60	男	安心して子どもを育て、女性も働き続けられる施設や制度の整備・充実。・企業内保育所の充実。・保育所と医療施設や老人施設の併設。(お年寄りが赤ちゃんや幼児の世話ができるような施設)・小、中学生が放課後や土、日に安心して過ごせる施設。・小、中、高校生が地域の伝統文化、芸能等を楽しく学べるような施設とそれらを教える人材の確保、育成

7-2	里村	55	男	<p>幸せを共有できるまち。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者を中心としたまちづくりや政策を積極的に社会教育に、薩摩独自の気風をとりもどしたものをとり入れていく。 ・高齢者に優しい思いやりのあるまちづくり、政策 <p>医療の技術・器械、システム、人材の充実。保健面での前向きなとりくみ。福祉面で思いやる心の充実をはかる。</p>
8-3	上甕村	62	男	<ul style="list-style-type: none"> ・稚魚の放流とアワビ養殖や水産加工品の製造等水産振興対策 ・スポーツ、レクリエーション施設、集会施設の改修 ・アイランドテラピーによる健康づくりの推進(すのさき荘改修温泉化) ・生涯安心して住める地域づくり(高齢者生活福祉センター等温泉施設の整備) ・海岸への流木、竹、ごみ等の処理施策 ・保育園(又は保育所)図書館や集合施設等複合少子化交流施設の整備
11-6	川内地区 消防組合	43	男	子ども・年寄りが安心して暮らせるまちづくり
11-8	川内地区 消防組合	39	男	これからの子どもたちが自分の住む町を自慢できる活気ある明るい町になるよう期待します。また、老若男女が楽しく集まる町になって欲しいと思います。
11-31	川内地区 消防組合	50	男	<p>平均寿命の年齢も上がり、ますます高齢化社会になりますが、災害弱者といわれる高齢者が安心して生活できるように住宅の防火(火災感知器、消火設備の設置等)・防災化(寝具・衣類等の使用)及び緊急通報装置の携帯等防災面にも重点を置いていただきたい。</p> <p>在宅高齢者はデイケア等で、出向いてサービスを受けるのではなく、充実した老後が暮らせるように各地に拠点施設を設置し、ボランティア若しくは行政によるサービスを望みます。</p>
11-36	川内地区 消防組合	37	男	<p>地域活性化や市民、子どもたちの情操教育のため、音楽や踊りなどの文化事業のバックアップを強化してほしい。</p> <p>そのためには、川内市内や近隣町村で文化活動をしている個人や団体がもっと市民会館等の公共施設を利用できやすいように、使用料金の引き下げや駐車場の増設、交通機関の充実等を計ってほしい。</p>
11-78	川内地区 消防組合	41	男	福祉充実の町 子供達が大人と一緒に遊べ、一日を過ごす事が出来る施設等を作ってほしい。
11-86	川内地区 消防組合	55	男	<p>年寄りや子どもの住みやすい町</p> <p>JRの駅を多く作り地域の活性化を図る</p>
11-87	川内地区 消防組合	22	男	子どもたちの養育費を安くする(保育料)
11-89	川内地区 消防組合	29	男	少子化が進む昨今より多くの子どもの出生が得られるよう一定以上の子どもを受けた家庭には補助をする
11-91	川内地区 消防組合	25	男	高齢者の方々が安心して暮らせる町
12-9	西薩衛生 処理組合	48	男	介護・援助を必要とする一人暮らしのお年寄等に対して、地域ぐるみで声かけ等の運動を展開するなど高齢者や社会的弱者に優しいまちづくりを推し進めてほしい。

13-3	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	45	男	総合病院の開設。専門、総合高等学校の増設(学区制の撤廃)公立大学の開設。災害に強い道路の整備。運動公園の整備、増設・改善(ナイター、フェンス etc)
13-7	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	40	女	温泉を利用した公共の施設。現在もありますが、他の市町村やお年寄りだけに限らず若者も一緒に楽しめる様な工夫をして、例えば大きな温泉プールや流れるプール、マッサージしながらイヤホンで音楽等が聞けるスペース、スポーツジム。宮崎県延岡市にヘルストピアという施設があり、一度利用しました。串木野市より人口もかなり多い市ではありましたが、子どもからお年寄りまでたくさんの方が利用されていて印象的でした。
18-4	上甕島バス企業団	58	男	新しい市が、誕生する頃は私は定年を迎えてる頃だと思う。私も何か一役頑張ってみようと思っております。だから老人の取組む職場を作ってほしい。又老いたる私共に変り若い世代が活気ある取場又スポーツ、娯楽施設等私の住んでる甕島地区にもお願いしたいと思います。
5	個別応募：川内市	24	女	施設を郊外に作るのではなく、都心に作ってほしい。老後、リハビリセンターなど、寂しい山の中ではなく、子供たちがすぐ会いに来てくれるような・・・

保健福祉(テーマ テーマ ~ で記入できなかった事柄等をご記入ください。)

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-104	川内市	41	男	産業振興による経済基盤の充実。少数集落でも安心して暮らせるまちづくりの推進(コミュニティの推進)。住民の声が反映される施策の推進 外に目を向けた施策の展開(国際交流、国際貿易の推進)。福祉・医療体制が充実したまちづくりの推進 障害者(弱者)に優しく、障害者がいきいきと暮らせるまちづくりの推進 学校教育環境や生涯学習環境が整備されたまちづくりの推進
2-139	串木野市	54	男	高齢者医療対策として保健事業の充実 住民に密着した生活環境の整備 不法投棄対策 牛豚のふん尿を処理し堆肥化する施設の建設
3-3	樋脇町	49	女	新保健センターを核として健康づくりを進めていく。(温泉の有効活用)休養の場とする。 丸山、観光農園、温泉を結んだ新しいルートの開発(温泉街の整備 古さを活用) 住民サービスはお金を使わず、頭を使おう (無料健診・検診券、無料入浴券、無料乗り物券、無料配達券、無料シルバー人材センター派遣) * ボランティアでポイントをためて自分の希望を実現する。
3-4	樋脇町	54	男	ふれあいサロン 福祉のまちづくり事業で各地域概ね月1回のふれあいサロンを実施しているが住み慣れた地域で近隣の方々とふれあい高齢者の交流事業として役立っている。要支援要介護については介護保険制度の活用があるが、境界層の高齢者又異世代間の交流事業として継続して広く設置することが望ましい。
8-2	上甕村	49	男	医療・福祉の充実

11-20	川内地区 消防組合	26	男	サービスの平均化, 現在甑島は当該運搬の手段として甑島商船の利用, 個人漁船の搬送・防災縁や海上自衛隊ヘリコプターを利用しているが天候に左右されているのが現実です。島田からの-(マイナス)面が浮き掘りになっているので, せめて本当と同じ市の一部になるわけだから, 甑島列島を1つに結び(鹿島村と中甑を結ぶ蘭牟田瀬戸大橋を建設)里村と下甑村のちょうど中間地に総合病院を建設して医療サービスの向上をはかってほしい
11-23	川内地区 消防組合	39	男	少子化について問題が解決できるまちづくり 3人以上には補助金, 私立幼稚園・市立幼稚園・町立幼稚園の月額差をなくす 小児医療の金額補助 子どもたちが集まるイベント作り 鹿児島市の動向にとらわれることなく, 独自の考えを常に持ってほしい。川内駅を中心にしたまちづくりをしてほしい。現在の市・町境に区画を作り, 境のないまち作りをしてほしい。防災面で穴のない体制作りを目指してほしい。3次救急医療の体制作り
11-54	川内地区 消防組合	31	男	最近の健康ブームでウォーキング又犬等の散歩をしている人達をよく見かけることがありますが, 川内市で一番そのような場所に適しているところは, 川内の河川敷だと思います。しかし, 昼間はウォーキングジョギングも快適に行えるのですが, 夜間は灯りが全くないため, せっかくの場所がもったいないように思います。この整備を行えば, 景観的にもいいのでは。